

## カンショ栽培における生分解性マルチ実証試験に伴う現地検討会が開催されました

令和7年9月12日（金）に、銚田市農業振興協議会主催で、土壌中の水分や微生物によって分解される「生分解性マルチ」の導入推進を図るため、カンショ栽培における生分解性マルチ実証試験の現地検討会を開催し、銚田市内の生産者や生分解性マルチのメーカー、関係機関職員ら約30名の参加がありました。

銚田市はカンショ産出額が全国1位ですが、栽培に使用する農ポリマルチの処分費用の増加、処分に伴う環境への負荷、規模拡大に伴うマルチ除去作業の負担増加等が課題となっています。そこで、銚田市農業振興協議会が主体となり、みどりの食料システム戦略緊急対策交付金のグリーンな栽培体系加速化事業を活用し、銚田市のカンショ栽培土壌に適する生分解性マルチを検討しています。

当現地検討会では、普及センターから実証の目的や試験概要などを説明し、園主からは生分解性マルチを活用した所感、各生分解性マルチメーカーからは特徴などのコメントを頂きました。その後、生分解性マルチの崩壊程度やカンショの生育状況を確認し、情報交換及び意見交換を行いました。

現時点のカンショの生育状況は概ね順調であり、生分解性マルチも各メーカーの概ね想定どおりの崩壊程度とのことでした。参加者からは、「各マルチのカンショの収量と品質が気になる」などの感想が寄せられ、今後の掘り取り調査結果への期待が高まりました。

普及センターでは、銚田市農業振興協議会の活動を支援していくとともに、かんしょ生産の作業省力化及び環境にやさしい農業の取組推進を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



現地検討会の様子